

主催：日本ソルフェージュ研究協議会

## 第5回 ワークショップ

# 授業を通してソルフェージュを考える

日本ソルフェージュ研究協議会は、ソルフェージュを従来の枠に囚われず、幅広い観点から考察するため、講演会、シンポジウム、ワークショップ、研究発表、演奏者からの提言と定期的に催し物を開催しておりますが、今回、大阪音楽大学のご協力を得まして、昨年に引き続き関西での第2回目のワークショップを開催させて頂く運びとなりました。

今回は、大阪音楽大学の飯田先生と桐朋学園大学の鷹羽先生の、東西お二人の講師による模擬授業を通して、ソルフェージュの可能性と問題点を皆様と共に考えていきたいと思っております。

ユーフォニアム、作曲、と出身の異なるお二人の模擬授業、ユニークな展開が期待されます。より多くの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

日本ソルフェージュ研究協議会会長 渡辺 健二

日時：2017年 **3月25日(土)** 14時開演 (13時30分開場)  
会場：大阪音楽大学 B館 402号教室



鷹羽 弘晃 Hiroaki TAKAHA

2001年桐朋学園大学作曲理論学科卒業。2009年より、パリ・エコール・ノルマルに留学。作曲のDiplome Supérieur取得。第68回日本音楽コンクール作曲部門入選。作品は、日本音楽集団、東京混声合唱団、アール・レスピラン等によって演奏されている。ピアノ演奏では1999年第9回日本室内楽コンクール第1位(ヴィオラとの共演)。

2014年向井山朋子監修のピアノコンサートシリーズMULTUS#3にて同氏らと共にシミオン・テン・ホルト作曲の2時間を越える4台のピアノの演奏ツアーに参加した。現代音楽での活動も多い。指揮ではアンサンブル・ノマド、アンサンブル室町等に客演。ピアノ演奏も含め、多くの初演に携わり現代作品を中心に活動。コンテンポラリー・αメンバー。現在、桐朋女子校等学校音楽科教諭及び桐朋学園大学音楽科非常勤講師(ソルフェージュ部会所属)。

### ◆ソルフェージュから試みる現代音楽のアプローチ その2

近年、いわゆる「現代音楽」は演奏家にとってより身近なものになってきたと言えよう。しかし、その演奏には通常のクラシックの作品とは違った『ソルフェージュの引出し』、例えば、微分音や特殊奏法による新しい音響に対する感覚や、特殊な記譜の読み方など、知識と慣れが必要である。2015年9月に東京で行ったワークショップの続編となる今回も、現代音楽のスタイルをいくつか取り上げ、どのようなソルフェージュの授業展開の可能性があるのか、実践例を紹介していく。



飯田 裕貴 Yuki IIDA

明誠学院高等学校特別芸術コースを経て、国立音楽大学音楽学部ユーフォニアム専攻卒業。大阪音楽大学音楽専攻科修了。同大学院音楽研究科修士課程修了。その後同大学院研究生として、アンサンブルや管楽器奏者のためのソルフェージュ教育について研究を行う。現在、大阪音楽大学、明誠学院高等学校特別芸術コース非常勤講師。ユーフォニアムアンサンブル「Phoenix」メンバー。

### ◆リズム・ソルフェージュを通して音楽表現へ

学生が演奏する上で、リズムを正確に読めていない事やリズムの動きを身体で感じていない事が原因で、楽曲を理解した音楽的な表現までには至っていないと感じることがある。今回は、フランスの作曲家、音楽教師でもあったノエル＝ギャロンの「リズム・ソルフェージュのための50の課題」を用いて、音高・アーティキュレーション・リズムの展開から強弱や構成を読み取り表現の工夫に取り組む。またリズム読みと同時に、手足で拍子や簡単なリズムパターンを打つことによって得られる感覚的な部分も大切にしたい。

#### ▼入場料：

一般 3,000円  
学生 1,000円  
賛助会員 1,500円  
(会員無料)

一般での入場ご希望の方は、チケットを発行していませんので、開場時間～開演の間に直接受け付けにお越し下さるようお願い致します。(予約の必要はありません)

#### ▼問い合わせ先：

日本ソルフェージュ研究協議会事務局  
Tel. 090-5566-8567  
E-mail : ni-sol-ken@island.dti.ne.jp  
<http://www.ni-sol-ken.com/index.html>

大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部  
豊中市庄内幸町1-1-8 TEL 06-6334-2131

